

報道関係者 各位

令和6年3月11日(月)

【照会先】

鹿児島労働局労働基準部監督課
監督課長 篠田 雅史
監察監督官 山口 大輔
099 - 223 - 8277

年末年始建設業一斉集中立入調査結果を公表します

鹿児島労働局(局長 ^{ちゅうしよてゐひと} 中所照仁)は、令和5年12月1日から令和6年1月31日までに管内5つの労働基準監督署において建設現場に対する一斉集中立入調査を実施し、その結果を下記のとおりとりまとめたので公表します。

【趣旨】

年末年始は、慌ただしい時期であり、作業内容や生活リズムが変わる傾向にあることから、建設業の労働災害が発生しやすい時期となっています。

このような状況を踏まえ、鹿児島労働局では、年末年始におけるさらなる労働災害の撲滅を目指し、「年末年始建設業一斉集中立入調査」を実施しました。

【実施結果概要】

1 監督実施状況(別添1「監督実施状況」参照)

管内5つの労働基準監督署において、期間中に施工していた108現場(土木43、建築58、その他7)の147事業場(元請と関係請負人の合計)に対して実施した結果、42(38.9%)の現場(元請と関係請負人の合計72事業場)において、労働安全衛生法違反が認められました。

2 主な違反の内容(件数は元請と関係請負人に対する違反件数の合計)

「墜落・転落防止」に関する違反 . . . 45件

作業床の端・開口部等からの墜落防止、足場に関する措置等

「元請けの統括安全衛生管理」に関する違反 . . . 14件

関係請負人に対する指導等

「建設機械等」に関する違反 . . . 11件

資格、作業方法、点検等

3 重大悪質違反事例

建築工事現場において、石膏ボードを切断する際に、有効な呼吸用保護具（防じんマスク）を使用させていなかったもの（民間発注）

4 使用停止等事例

土木・建築工事現場において、足場に手すり、中棧等を設けずに作業を行わせていたもの（土木：県及び民間発注、建築：市町村及び民間発注）

土木・建築工事現場において、作業床の端に墜落防止措置の手すりを設けていなかったもの（土木：県及び民間発注、建築：市町村及び民間発注）

土木工事現場において、法面の端の墜落危険箇所「囲い・手すり等を設けていなかったもの（県発注）

建築工事現場において、足場の架設通路（昇降階段）の手すりに中棧を設けていなかったもの（民間発注）

建築工事現場において、ロングスパンエレベーターの1階出入り口に戸及びロック装置を設けていなかったもの（民間発注）

5 今後の方針（別添2「令和6年1月末（速報）業種別死傷災害発生状況」参照）

令和5年に建設業で発生した休業4日以上死傷者数は294人（令和6年1月末速報値、コロナリ患者除く）で、事故の型別では墜落・転落（116人、39.5%）が最も多く、切れ・こすれ（26人、8.8%）、激突され（26人、8.8%）によるものが発生しています。死亡者数は3人で、ビル解体工事現場で墜落・転落による死亡災害が発生しています。また、被災者を年齢別にみると、60歳以上が32.3%、50歳台が19.0%で、50歳以上の高齢者が約5割（51.3%）を占めています。

鹿児島労働局では、建設業における労働災害防止を図るため、今後も管内の労働基準監督署において的確な監督指導を実施するとともに、各事業場における墜落・転落災害の防止対策をはじめ、高齢者の災害防止対策など安全管理の徹底を呼びかけていくこととしています。

監督実施状況

年度	工事の種類	監督現場数	違反現場数		違反率	
			重大な違反現場数	使用停止等現場数		
令和4年度	土木	40	23	2	2	57.5%
	建築	36	24	2	7	66.7%
	その他の建設業	4	2	0	0	50.0%
	合計	80	49	4	9	61.3%
令和5年度	土木	43	17	0	5	39.5%
	建築	58	23	1	9	39.7%
	その他の建設業	7	2	0	1	28.6%
	合計	108	42	1	15	38.9%

令和6年1月末（速報）
業種別死傷災害発生状況

別添2

鹿児島労働局

業種別死傷災害発生状況									
業種	年	令和5年		令和4年		対前年			
						増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		2,154	14	1,958	13	196	1	10.0%	7.7%
1 製造業		423	4	361		62	4	17.2%	
1 食料品製造業		240	3	219		21	3	9.6%	
4 木材・木製品製造業		22		22				0.0%	
9 窯業土石製品製造業		22		19		3		15.8%	
11～12 金属製品製造業		30		20		10		50.0%	
13～15 機械機具製造業		43		27		16		59.3%	
上記以外の製造業		66	1	54		12	1	22.2%	
2 鉱業		8		6		2		33.3%	
3 建設業		294	3	270	5	24	-2	8.9%	-40.0%
1 土木工事業		102	1	107	3	-5	-2	-4.7%	-66.7%
2 建築工事業		137	1	129	1	8		6.2%	
3 その他の建設業		55	1	34	1	21		61.8%	
4 運輸交通業		207	1	193	2	14	-1	7.3%	-50.0%
1 鉄道・航空機業		5		5				0.0%	
2 道路旅客運送業		17		6		11		183.3%	
3 道路貨物運送業		185	1	181	2	4	-1	2.2%	-50.0%
4 その他の運輸交通業		0		1		-1		-100.0%	
5 貨物取扱業		22		27		-5		-18.5%	
1 陸上貨物取扱業		11		10		1		10.0%	
2 港湾運送業		11		17		-6		-35.3%	
6 農林業		104	1	97	2	7	-1	7.2%	-50.0%
1 農業		62		47		15		31.9%	
2 林業		42	1	50	2	-8	-1	-16.0%	-50.0%
7 畜産・水産業		106		116	1	-10	-1	-8.6%	-100.0%
8 商業		278	2	265	2	13		4.9%	
1 卸売業		37		38	1	-1	-1	-2.6%	-100.0%
2 小売業		214	2	197		17	2	8.6%	
3 理美容業		2		2				0.0%	
4 その他の商業		25		28	1	-3	-1	-10.7%	-100.0%
9 金融・広告業		23		13		10		76.9%	
11 通信業		26		25		1		4.0%	
12 教育・研究業		27		28		-1		-3.6%	
13 保健衛生業		365		316		49		15.5%	
1 医療保健業		143		123		20		16.3%	
2 社会福祉施設		210		187		23		12.3%	
3 その他の保健衛生業		12		6		6		100.0%	
14 接客娯楽業		105	1	100		5	1	5.0%	
1 旅館業		24	1	29		-5	1	-17.2%	
2 飲食店		62		50		12		24.0%	
3 その他の接客娯楽業		19		21		-2		-9.5%	
上記以外の事業		166	2	141	1	25	1	17.7%	100.0%
10 映画・演劇業		1		0		1		-	
15 清掃・と畜業		90		78		12		15.4%	
16 官公署		0		2		-2		-100.0%	
17 その他の事業		75	2	61	1	14	1	23.0%	100.0%
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）		196	1	191	2	5	-1	2.6%	-50.0%
第三次産業（8～17）		990	5	888	3	102	2	11.5%	66.7%

- ① 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月8日締めで集計したもの。
- ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
- ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ④ 下段の陸上貨物運送事業（4-3-5-1）及び第三次産業（8～17）は、別計。
- ⑤ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和6年1月末（速報）
業種別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別					
業種	順位	令和5年	人数	割合	順位	令和4年	人数	割合		令和5年		令和4年		増減数 人数
										人数	割合	人数	割合	
全産業	1	転倒	538	25.0%	1	転倒	461	23.5%	～19歳	41	1.9%	20	1.0%	21
	2	墜落・転落	400	18.6%	2	墜落・転落	339	17.3%	20歳～29歳	244	11.3%	200	10.2%	44
	3	動作の反動・無理な動作	341	15.8%	3	動作の反動・無理な動作	321	16.4%	30歳～39歳	254	11.8%	250	12.8%	4
	4	はさまれ・巻き込まれ	194	9.0%	4	はさまれ・巻き込まれ	206	10.5%	40歳～49歳	394	18.3%	371	18.9%	23
	5	切れ・こすれ	139	6.5%	5	切れ・こすれ	140	7.2%	50歳～59歳	527	24.5%	450	23.0%	77
									60歳～	694	32.2%	667	34.1%	27
製造業	1	転倒	118	27.9%	1	転倒	81	22.4%	～19歳	8	1.9%	6	1.7%	2
	2	はさまれ・巻き込まれ	69	16.3%	2	はさまれ・巻き込まれ	68	18.8%	20歳～29歳	59	13.9%	42	11.6%	17
	3	墜落・転落	53	12.5%	3	切れ・こすれ	50	13.9%	30歳～39歳	62	14.7%	60	16.6%	2
	4	動作の反動・無理な動作	49	11.6%	4	動作の反動・無理な動作	45	12.5%	40歳～49歳	80	18.9%	68	18.8%	12
	5	切れ・こすれ	42	9.9%	5	墜落・転落	38	10.5%	50歳～59歳	103	24.3%	97	26.9%	6
									60歳～	111	26.2%	88	24.4%	23
建設業	1	墜落・転落	116	39.5%	1	墜落・転落	94	34.8%	～19歳	5	1.7%	1	0.4%	4
	2	切れ・こすれ	26	8.8%	2	はさまれ・巻き込まれ	32	11.9%	20歳～29歳	48	16.3%	19	7.0%	29
	2	激突され	26	8.8%	3	切れ・こすれ	30	11.1%	30歳～39歳	42	14.3%	36	13.3%	6
	4	転倒	23	7.8%	4	転倒	23	8.5%	40歳～49歳	48	16.3%	51	18.9%	-3
	4	はさまれ・巻き込まれ	23	7.8%	5	激突され	22	8.1%	50歳～59歳	56	19.0%	58	21.5%	-2
									60歳～	95	32.3%	105	38.9%	-10
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	57	29.1%	1	墜落・転落	56	29.3%	～19歳	5	2.6%	1	0.5%	4
	2	転倒	30	15.3%	2	動作の反動・無理な動作	32	16.8%	20歳～29歳	11	5.6%	17	8.9%	-6
	2	動作の反動・無理な動作	30	15.3%	3	転倒	26	13.6%	30歳～39歳	31	15.8%	25	13.1%	6
	4	はさまれ・巻き込まれ	23	11.7%	4	はさまれ・巻き込まれ	22	11.5%	40歳～49歳	54	27.6%	45	23.6%	9
	5	激突	14	7.1%	5	激突	18	9.4%	50歳～59歳	61	31.1%	60	31.4%	1
									60歳～	34	17.3%	43	22.5%	-9
林業	1	切れ・こすれ	18	42.9%	1	転倒	12	24.0%	～19歳	1	2.4%	0	0.0%	1
	2	飛来・落下	6	14.3%	2	激突され	10	20.0%	20歳～29歳	7	16.7%	4	8.0%	3
	3	激突され	5	11.9%	2	切れ・こすれ	10	20.0%	30歳～39歳	4	9.5%	13	26.0%	-9
	4	墜落・転落	4	9.5%	4	飛来・落下	6	12.0%	40歳～49歳	6	14.3%	8	16.0%	-2
	4	転倒	4	9.5%	5	動作の反動・無理な動作	4	8.0%	50歳～59歳	8	19.0%	9	18.0%	-1
									60歳～	16	38.1%	16	32.0%	
第三次産 業	1	転倒	326	32.9%	1	転倒	285	32.1%	～19歳	18	1.8%	10	1.1%	8
	2	動作の反動・無理な動作	217	21.9%	2	動作の反動・無理な動作	204	23.0%	20歳～29歳	89	9.0%	86	9.7%	3
	3	墜落・転落	141	14.2%	3	墜落・転落	113	12.7%	30歳～39歳	83	8.4%	90	10.1%	-7
	4	交通事故（道路）	79	8.0%	4	交通事故（道路）	56	6.3%	40歳～49歳	175	17.7%	155	17.5%	20
	5	激突	42	4.2%	5	はさまれ・巻き込まれ	48	5.4%	50歳～59歳	251	25.4%	191	21.5%	60
									60歳～	374	37.8%	356	40.1%	18
小売業	1	転倒	75	35.0%	1	転倒	62	31.5%	～19歳	5	2.3%	3	1.5%	2
	2	墜落・転落	34	15.9%	2	動作の反動・無理な動作	35	17.8%	20歳～29歳	19	8.9%	13	6.6%	6
	3	動作の反動・無理な動作	31	14.5%	3	墜落・転落	32	16.2%	30歳～39歳	18	8.4%	20	10.2%	-2
	4	交通事故（道路）	27	12.6%	4	交通事故（道路）	24	12.2%	40歳～49歳	34	15.9%	31	15.7%	3
	5	激突	12	5.6%	5	激突	11	5.6%	50歳～59歳	45	21.0%	40	20.3%	5
									60歳～	93	43.5%	90	45.7%	3
社会福 祉施設	1	動作の反動・無理な動作	77	36.7%	1	動作の反動・無理な動作	75	40.1%	～19歳	1	0.5%	1	0.5%	
	2	転倒	75	35.7%	2	転倒	66	35.3%	20歳～29歳	17	8.1%	13	7.0%	4
	3	墜落・転落	13	6.2%	3	墜落・転落	13	7.0%	30歳～39歳	13	6.2%	19	10.2%	-6
	4	激突	11	5.2%	4	激突	9	4.8%	40歳～49歳	35	16.7%	36	19.3%	-1
	5	交通事故（道路）	8	3.8%	5	激突され	6	3.2%	50歳～59歳	59	28.1%	42	22.5%	17
									60歳～	85	40.5%	76	40.6%	9
飲食店	1	転倒	17	27.4%	1	転倒	20	40.0%	～19歳	7	11.3%	5	10.0%	2
	2	高温・低温の物との接触	12	19.4%	2	切れ・こすれ	11	22.0%	20歳～29歳	9	14.5%	7	14.0%	2
	3	墜落・転落	11	17.7%	3	動作の反動・無理な動作	5	10.0%	30歳～39歳	3	4.8%	6	12.0%	-3
	4	切れ・こすれ	9	14.5%	4	高温・低温の物との接触	4	8.0%	40歳～49歳	10	16.1%	8	16.0%	2
	5	動作の反動・無理な動作	5	8.1%	5	墜落・転落	2	4.0%	50歳～59歳	12	19.4%	8	16.0%	4
									60歳～	21	33.9%	16	32.0%	5

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和5年 死亡災害事例(令和6年1月末日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和5年 1 月	その他の事業	作業員・技能者	男	59	28年	転倒	その他の環境等	通行人が業務で使用する車両のそばに横たわっている被災者に気づき、診療所へ搬送した。その後、手術を行ったが災害発生から17日後に死亡。
2	令和5年 4 月	その他の建設業	技術者	男	53	20年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	出張先での用務を終え帰社するため、乗用車で片側1車線の県道を走行中、反対車線にはみ出し、対向車のトラックと衝突したものの。
3	令和5年 5 月	その他の製造業	整備工	男	51	10年	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	工場建物のスレート屋根上に設置されたスプリンクラーの補修作業を行っていた被災者が、スレートを踏み抜き約5.7m下のコンクリート床へ落下したものの。
4	令和5年 5 月	食料品製造業	作業員	男	25	5年	はさまれ・巻き込まれ	食品加工用機械	被災者は菓子の製造で使用する機械(攪拌機)内部の清掃作業を行っていたが、当該攪拌機内のプロペラ部分に巻き込まれた状態で発見されたもの。
5	令和5年 5 月	林業	林業作業員	男	54	2ヶ月	墜落・転落	伐木等機械	民有林の伐採現場において、被災者は木材グラップル機を操作し、複数本の伐倒木を走行集材機械の荷台に積み込む作業を行っていたところバランスを崩し、当該グラップル機とともに約30m下の斜面に転落したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
6	令和5年 5 月	食料品製造業	作業員	男	54	21年	高温・低温の物との接触	圧力容器	工場内にて、被災者は原料を煮るため圧力容器に原料を入れ、容器の蓋を閉めて圧力をかけていたが、圧力をかけずに煮る作業であったことに気づき、圧力容器から1.8m離れた位置にある操作盤で蓋を開ける操作を行ったところ、当該容器内の圧力が大気圧より高い状態で蓋が開いて内容物と蒸気が噴出し、全身火傷及び気道熱傷により被災した。被災後、病院で加療中であったが5月27日に死亡した。
7	令和5年 6 月	建築工事業	解体工	男	41	14年	墜落・転落	建築物、構築物	ビル解体工事現場において、地上7階部分の塔屋の解体作業中、作業場所から約25m下の躯体と作業用足場間のアスファルト地面に墜落したものの
8	令和5年 6 月	小売業	店員	女	55	10年	墜落・転落	トラック	被災者は店舗敷地内に止めていたトラック(最大積載量1.8t)の荷台に約18kgのごみ袋を積み込む作業に向かった。その直後、店長がごみを運びに当該トラックに向かったところ、トラック後方の地面に仰向けで倒れていた被災者を発見したもの。救急搬送後、病院で加療していたが、意識が戻らないまま5日後に死亡した。
9	令和5年 8 月	警備業	警備員	男	57	1年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	被災者とは別会社に所属する運転手が運転するワンボックス車の助手席に被災者が同乗し、荷物を輸送中、ワンボックス車が片側2車線の中央分離帯に接触し、反動で同走行車線の左側の車線に跳ね返され、その勢いそのまま車線反対側のフェンスをなぎ倒し、10メートルの崖下に墜落した。助手席の被災者は死亡し、運転者は負傷した。
10	令和5年 8 月	土木工事業	運転者	男	60	30年	崩壊・倒壊	地山、岩石	太陽光発電所新設に伴う造成工事現場において、高さ約40メートルの盛土法面の下方で堆積した土砂をドラグショベルを用いてダンプトラックに積み込む作業を行っていたところ、盛土法面が崩壊し、土砂がドラグショベルの運転席に入り込んで生き埋めとなったものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
11	令和5年 9 月	旅館業	作業員	男	32	14年	墜落・転落	建築物、構築物	施設内で清掃業務を行っていた被災者が業務終了時刻を過ぎても事務所に戻らなかったため、従業員が施設内を捜したところ、露天風呂の床面で頭部から血を流して倒れている被災者を同僚が発見したものの。
12	令和5年 10 月	一般貨物自動車 運送事業	作業員	男	66	1年	飛来・落下	フォークリフト	事業場構内にて、重さ1.7tの空コンテナを置場に移動させるためフォークリフトで運搬していたところ、空コンテナがフォークリフトから落下し、置場で清掃作業を行っていた被災者が当該コンテナの下敷きになったものの。
13	令和5年 11 月	小売業	作業員	男	67	47年	墜落・転落	開口部	被災者の親戚から「架電中に通話不能となった」旨の連絡が事業場にあったため、事業場の労働者らが事業場内を確認したところ、事業場敷地内倉庫の1階にて、出血しつつぶせの状態で見つかる被災者を発見したものの。
14	令和5年 12 月	食料品製造業	作業員	女	77	6年	墜落・転落	地山・岩石	事業場所有の農園にて、被災者は草刈り作業が一段落して休憩をとっていたが、用を足してくると同僚に伝えて休憩場所を離れた後戻ってこなかったため、捜索したところ、農園脇の崖下の沢で倒れている被災者が発見され、死亡が確認されたものの。